

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント Device Enrollment Program 運用マニュアル

最終更新日 2018 年 9 月 14 日

株式会社オプティム

(c)東日本電信電話株式会社

●本マニュアルの目的

- ・本マニュアルでは、Device Enrollment Program（DEP）の運用について説明しています。
- ・Device Enrollment Program(Apple Deployment Program)ではなく、Apple Business Manager をご利用の場合でも、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント側の操作方法は変わりません。

Device Enrollment Program 側の操作が、Apple Business Manager での操作となります。

Apple Business Manager の操作方法については、以下を参照してください。

<https://help.apple.com/businessmanager/?lang=ja>

●本マニュアル表記や画面について

- ・ボタン名、リンク名、タブ名などは[]で表記します。
- ・画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。

●Web サイトの URL について

マニュアルの説明で記載している弊社以外の Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

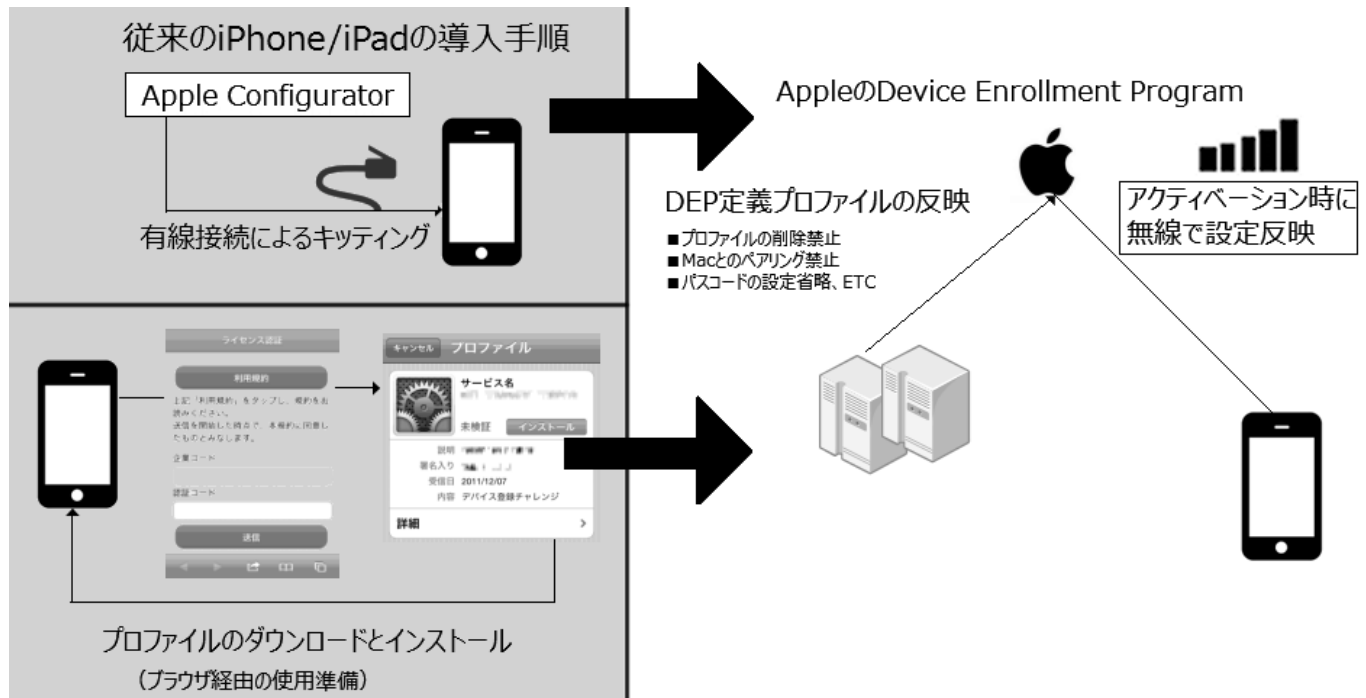
●商標について

- ・iPhone、iPad は、Apple Inc.の商標です。
- ・iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

1	<u>DEP による iPhone/iPad 導入手順</u>	<u>4</u>
1.1	導入時の流れ	5
1.2	サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルのダウンロード	6
1.3	サーバートークンの取得と登録	7
1.4	サーバートークンファイルの登録	8
1.5	注文番号とシリアル番号の登録	9
1.6	サーバートークンの編集	10
1.7	サーバートークンファイルの更新	11
1.7.1	Apple Deployment Program サイトにアクセス	11
1.7.2	サーバートークンファイルの更新	12
2	<u>DEP 機器管理</u>	<u>13</u>
2.1	DEP 定義プロファイルによる設定作成	13
2.2	設定テンプレートの作成	15
2.3	DEP 機器一覧	16
3	<u>iPhone/iPad での初期設定</u>	<u>18</u>
4	<u>付録</u>	<u>19</u>
4.1	参考リンク集	19
4.2	注意事項	19
4.3	制限事項	20
4.4	ログ一覧	21
4.4.1	操作ログ	21
4.4.2	iOS エージェントログ	22

1 DEP による iPhone/iPad 導入手順

Apple 社の提供する「Device Enrollment Program」を利用することで、企業や教育機関は iPhone/iPad を短時間で導入し、確実に監視することが可能です。DEP の設定はデバイスのアクティベーション時に反映されるため、管理対象の iOS 端末から特定の URL にアクセスしエージェントやプロファイルをインストールしたり、有線接続して Apple Configurator によるキッティングを行う必要がありません。



またユーザーによる MDM プロファイルの削除も禁止できるため、確実に端末に設定を強制することが可能です。また設定において Apple Configurator との接続を必要としないため、Over-The-Air（無線通信経由）で設定を行えることも大きなメリットです。DEP 管理対象の機器は管理サイトの[DEP 機器管理]画面で詳細確認・管理が可能です。

1.1 導入時の流れ

以下の手順で導入を行います。

	DEP による iPhone/iPad 導入	詳細	ページ数
1.	サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルの生成とダウンロード	管理サイトからサーバー公開鍵証明書(PEM)をダウンロードします。次に、この公開鍵証明書を Apple Deployment Program サイトに登録します。	6
2.	サーバートークンの取得	手順「1.」でダウンロードした公開鍵証明書を Apple Deployment Program サイトにアップロードします。この際にサーバートークンをダウンロードすることで、Apple Deployment Program の秘密鍵を入手します。	7
3.	サーバートークンファイルの登録	トークンを管理サイトにアップロードします。秘密鍵を復元することで、DEP サービスとの情報交換が可能になります。	8
4.	注文番号の登録	DEP の対象となる機器を Apple Deployment Program サイトから登録します。	9
5.	DEP 定義プロファイルによる設定作成	管理サイトで機器に適用する DEP の設定セットを作成します。	13
6.	DEP 機器一覧での同期	DEP 設定を管理対象の機器に対して適用します。	16

1.2 サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルのダウンロード

管理サイトの[設定]→[iOS]→[DEP]→[DEP サーバートークン登録]をクリックします。[DEP サーバートークン登録]画面が表示されますので、[編集]ボタンをクリックします。

1. サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルの生成とダウンロード

1 サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルをダウンロードしてください。

ダウンロード

2. サーバートークンの取得

以下のリンクよりAppleデプロイメントプログラムにログインしDevice Enrollment ProgramのMDMサーバー登録用のサーバートークンを取得してください。サーバートークンはサーバー公開鍵証明書(PEM)をアップロードすることで取得できます。

2 <https://deploy.apple.com>

※サーバートークンを定期的に更新する必要があります。有効期限が切れた場合、本製品はご利用いただけなくなります。

3. サーバートークンファイルの登録

2.より作成したサーバートークンファイルを指定してください。

ファイルを選択 選択されていません

備考 (※サーバートークン発行の際に使用されたApple IDを以下に記載することを推奨します。)

保存 取消

1. 「サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルの生成とダウンロード」の下に表示された[ダウンロード]をクリックします。サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルを保存します。
2. 公開鍵証明書(PEM)ファイルをダウンロードしたら、サーバートークンの取得を行います。2 の URL をクリックして Apple Deployment Program サイトに移動します。

1.3 サーバートークンの取得と登録

1. Apple Deployment Program に、Apple から申請承認済みの Apple ID でログインします。本人確認のための確認画面が表示されますので、必要な情報を入力します。次に「Device Enrollment Program」の設定、「Volume Purchase Program」の設定を選ぶ画面が表示されるので「Device Enrollment Program」を選択します。

※Device Enrollment Program（Apple Deployment Program）ではなく、Apple Business Manager をご利用の場合は、手順が異なります。詳細は、以下を参照してください。

<https://help.apple.com/businessmanager/?lang=ja>

2. 左のサイドバーの「Device Enrollment Program」の下に[サーバーの管理]を選択します。
※Apple Deployment Program の表示画像は掲載できないため、文章のみの説明となります。ご了承ください。
3. [サーバーの管理]ページの右上の[MDM サーバーを追加]をクリックします。
4. サーバーの名前を指定し、[次へ]をタップします。
5. サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルを指定してアップロードを行います。
6. [次へ]をクリックし、サーバートークンをダウンロードします。
7. ダウンロードが完了したら、管理サイトに戻ります。次に管理サイトにサーバートークンファイルを登録します。

※DEP サーバートークンのダウンロードを実施後、取得した DEP サーバートークンを管理サイトにすぐにアップロードせずに、長時間経過すると DEP サーバーと通信が行えなくなることがございます。トークンのダウンロードは必要時に実施していただきその DEP サーバーのトークンをご利用いただくようお願いいたします。

1.4 サーバートークンファイルの登録

1. サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルの生成とダウンロード

サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルをダウンロードしてください。

ダウンロード

2. サーバートークンの取得

以下のリンクよりAppleデプロイメントプログラムにログインしDevice Enrollment ProgramのMDMサーバー登録用のサーバートークンを取得してください。サーバートークンはサーバー公開鍵証明書(PEM)をアップロードすることで取得できます。

<https://deploy.apple.com>

※サーバートークンを定期的に更新する必要があります。有効期限が切れた場合、本製品はご利用いただけなくなります。

1 3. サーバートークンファイルの登録

2.より作成したサーバートークンファイルを指定してください。

ファイルを選択 選択されていません

備考 (※サーバートークン発行の際に使用されたApple IDを以下に記載することを推奨します。)

2 保存 取消

- 「サーバートークンファイルの登録」の下の[ファイルを選択]をクリックします。ファイル選択ダイアログが選択されたら、Apple Deployment Program からダウンロードしたファイルを選択します。
※トークンファイルの発行の際に使用された Apple ID は、大切に保管してください。トークンの更新(1年に1回)の際に必要となります。トークンの有効期限が切れた場合、本機能はご利用いただけなくなりますので、本画面の「備考」欄に Apple ID を登録することを推奨します。
- [保存]をクリックします。管理サイトが DEP サービスにアカウント情報を要求し、無事に認証が成功すると以下の画面が表示されます。アカウント情報を確認してください。

サーバートークン
2019/08/31 16:06:47まで有効

アカウント情報

サーバー名

組織名

メールアドレス

電話番号

住所

備考

編集

トークンを削除

DEP機器再読込

※トークンを管理サイトに登録した後の注意事項：Apple Deployment Program からトークンをダウンロードした場合、必ず管理サイトにトークンをアップロードしてください。このトークンを管理サイトにアップロードしなかった場合、一定時間経過後に、管理サイトは DEP サーバーとの通信ができなくなります。

[編集]からアカウントの編集を行います。

[トークンを削除]でトークンの削除を行います。

[DEP 機器再読込]で DEP 機器の再読込を行います。トークン情報、現在割り当てられている機器数など、DEP ライセンスの情報が全て更新されます。

※ライセンス情報の更新には、通常[DEP 機器管理]画面の[DEP サービスと同期]が使用されますが、このボタンは前回から変更された情報しか取得しないため、DEP ライセンス設定画面の内容と実際のライセンス割り当て状況の間に誤差が発生してしまう場合があります。この場合は、[DEP 機器再読込]を使用して DEP 機器情報を更新してください。

※再読込の処理は管理サイトの通信負荷の原因となります。

1.5 注文番号とシリアル番号の登録

Apple Deployment Program のサイトから、端末の注文番号とシリアル番号を使用して管理対象の端末を登録します。

※Device Enrollment Program（Apple Deployment Program）ではなく、Apple Business Manager をご利用の場合は、手順が異なります。詳細は、以下を参照してください。

<https://help.apple.com/businessmanager/?lang=ja>

「Device Enrollment Program」の左メニューから[デバイスの管理]を選択します。「1.デバイスの選択方法」から「シリアル番号」または「注文番号」を選択して登録します。

1.6 サーバートークンの編集

1. Apple Deployment Program のサイトに、Apple から申請承認済みの Apple ID でログインします。本人確認のための確認画面が表示されますので、必要な情報を入力します。次に「Device Enrollment Program」の設定、「Volume Purchase Program」の設定を選ぶ画面が表示されるので「Device Enrollment Program」を選択します。
※Device Enrollment Program（Apple Deployment Program）ではなく、Apple Business Manager をご利用の場合は、手順が異なります。詳細は、以下を参照してください。
<https://help.apple.com/businessmanager/?lang=ja>
2. 左のサイドバーの「Device Enrollment Program」の下の[サーバーの管理]を選択します。
※ Apple Deployment Program サイトの表示画像は掲載できないため、文章のみの説明となります。ご了承ください。
3. [サーバーの管理]から、編集するサーバーの名前を選択します。
4. 編集内容を以下から、設定します。
 - ・デフォルトサーバーを設定または変更する
 - ・サーバーを表示するかサーバー名を変更する
 - ・パブリックキー証明書を表示またはアップロードする
 - ・新しいサーバートークンを表示、生成、またはダウンロードする
 - ・サーバーを削除し、別のサーバーにデバイスを割り当てる
 - ・割り当て済みのデバイスを表示し、デバイスの種類と数量を確認する
 - ・割り当て済みのすべてのデバイスのシリアル番号が入ったカンマ区切り形式（CSV）ファイルをダウンロードする
 - ・「新規デバイスを自動的に割り当てる」を選択して、新しいデバイスを MDM サーバーに自動的に割り当てる
5. 変更を行うか、新しいトークンまたは CSV ファイルをダウンロードします。
6. [OK]をクリックします。

1.7 サーバートークンファイルの更新

サーバートークンには、1年間の有効期限があります。

有効期限が切れる前にサーバートークンの更新を行ってください。

有効期限は管理サイトの「DEP サーバートークン登録」画面にて確認することができます。

1.7.1 Apple Deployment Program サイトにアクセス

1. 管理サイトの[設定]→[iOS]→[DEP]→[DEP サーバートークン登録]をクリックします。[DEP サーバートークン登録]画面が表示されますので、[編集]ボタンをクリックします。
2. 赤枠で示す URL をクリックして Apple Deployment Program サイトに移動します。

1. サーバートークンファイルの生成とダウンロード

サーバートークンファイル(PEM)をダウンロードしてください。

ダウンロード

2. サーバートークンの取得

以下のリンクよりAppleデプロイメントプログラムにログインしDevice Enrollment ProgramのMDMサーバー登録用のサーバートークンを取得してください。サーバートークンはサーバートークン(PEM)をアップロードすることで取得できます。

<https://deploy.apple.com>

※サーバートークンを定期的に更新する必要があります。有効期限が切れた場合、本製品はご利用いただけなくなります。

3. サーバートークンファイルの登録

2.より作成したサーバートークンファイルを指定してください。

ファイルを選択 選択されていません

備考 (※サーバートークン発行の際に使用されたApple IDを以下に記載することを推奨します。)

保存

取消

1.7.2 サーバートークンファイルの更新

- Apple Deployment Program のサイトに、Apple から申請承認済みの Apple ID でログインします。本人確認のための確認画面が表示されますので、必要な情報を入力します。次に「Device Enrollment Program」の設定、「Volume Purchase Program」の設定を選ぶ画面が表示されるので「Device Enrollment Program」を選択します。
※Device Enrollment Program（Apple Deployment Program）ではなく、Apple Business Manager をご利用の場合は、手順が異なります。詳細は、以下を参照してください。
<https://help.apple.com/businessmanager/?lang=ja>
- 左のサイドバーの「Device Enrollment Program」の下の[サーバーの管理]を選択します。
※ Apple Deployment Program サイトの表示画像は掲載できないため、文章のみの説明となります。ご了承ください。
- [サーバーの管理]から編集するサーバーの名前を選択し、サーバー詳細画面を表示させます。
- 編集画面にて、[新規トークンを作成]をクリックします。
- [サーバートークン]をクリックしてトークンをダウンロードします。
- [完了]をクリックします。
- サーバー詳細画面にて[OK]をクリックします。
- ダウンロードが完了したら、管理サイトに戻ります。次に管理サイトにサーバートークンファイルを登録します。
※ DEP サーバートークンのダウンロードを実施後、取得した DEP サーバートークンを管理サイトにすぐにアップロードせずに、長時間経過すると DEP サーバーと通信が行えなくなることがございます。トークンのダウンロードは必要時に実施していただきその DEP サーバーのトークンをご利用いただくようお願いいたします。
- 「サーバートークンファイルの登録」の下に[ファイルを選択]をクリックします。ファイル選択ダイアログが選択されたら、Apple Deployment Program のサイトからダウンロードしたファイルを選択します。
※ トークンファイルの発行の際に使用された Apple ID は、大切に保管してください。トークンの更新(1年に1回)の際に必要となります。トークンの有効期限が切れた場合、本機能はご利用いただけなくなりますので、本画面の「備考」欄に Apple ID を登録することを推奨します。
- [保存]をクリックします。管理サイトが DEP サービスにアカウント情報を要求し、無事に認証が成功すると以下の画面が表示されます。サーバートークンの有効期限が更新されていることを確認してください。

サーバートークン
2019/08/31 16:06:47まで有効

アカウント情報

サーバー名

組織名

メールアドレス

電話番号

住所

備考

編集

トークンを削除

DEP機器再読込

2 DEP 機器管理

2.1 DEP 定義プロファイルによる設定作成

DEP 管理対象機器に対して設定を行うには、DEP 定義をまとめたプロファイルを作成します。

プロファイルは機器や組織に直接適用することができますが、プロファイルから設定テンプレートを作成することも可能です（15 ページの「設定テンプレートの作成」を参照してください）。

1. 新規プロファイルを作成するには[+]ボタンをクリックします。



- 以下の設定から選択し、プロファイルを作成します。
- 作成が完了したら[保存]ボタンをクリックします。

設定	
プロファイル名	DEP 定義プロファイルの名前を記入します
認証設定	
企業コードと認証コードの入力を必須とする	チェックを入れた場合、ユーザーに対して企業コードと認証コードの手動入力が必要されます。チェックをはずした場合、DEP による自動設定が行われます。
サポート設定	
部署名/電話番号/メールアドレス	プロファイルに含まれる部署名/電話番号/メールアドレスを表示します。(iOS 端末に表示されるのは部署名のみです。)
MDM 設定	
MDM 登録を必須とする	チェックを入れると iOS 機器の初期設定時に MDM 構成プロファイルのインストールが必須になります。
監視対象モードに設定する	チェックを入れると MDM 構成プロファイルにより、iOS 機器が「監視対象」となります。「監視」を有効に設定することで、AirDrop・iMessage・iBooks Store などの許可設定、Web フィルタリングなどの幅広い管理が適用可能になります。
MDM 登録の削除を禁止する	端末利用者が MDM 構成プロファイルを削除することを禁止します。 ※利用するには、「監視対象モードに設定する」にチェックを入れる必要があります。
Mac とのペアリングを許可する	チェックを入れると iOS と Mac とのペアリングが可能になります。
セットアップアシスタントの省略する手順	
パスコードを省略する	チェックを入れるとセットアップ中のパスコード設定がスキップされます。
位置情報サービスを有効にしない	チェックを入れると位置情報サービスが自動的に無効になります。設定画面もスキップされます。
バックアップからの復元を有効にしない	チェックを入れるとバックアップからの復元が自動的に無効になります。設定画面もスキップされます。
Apple ID でのサインインを有効にしない	チェックを入れると Apple ID でのサインインが自動的に無効になります。設定画面もスキップされます。
利用規約の表示を省略する	チェックを入れるとセットアップ中の利用規約表示がスキップされます。
指紋認証の設定を省略する	チェックを入れるとセットアップ中の指紋認証設定がスキップされます。
Apple Pay の設定を省略する	チェックを入れるとセットアップ中の Apple Pay 設定がスキップされます。
Zoom 設定を省略する	チェックを入れるとセットアップ中の Zoom 設定がスキップされます。
Siri を有効にしない	チェックを入れると Siri が自動的に無効になります。設定画面もスキップされます。
診断情報を自動的に送信しない	チェックを入れると診断情報の送付が自動的に無効になります。設定画面もスキップされます。

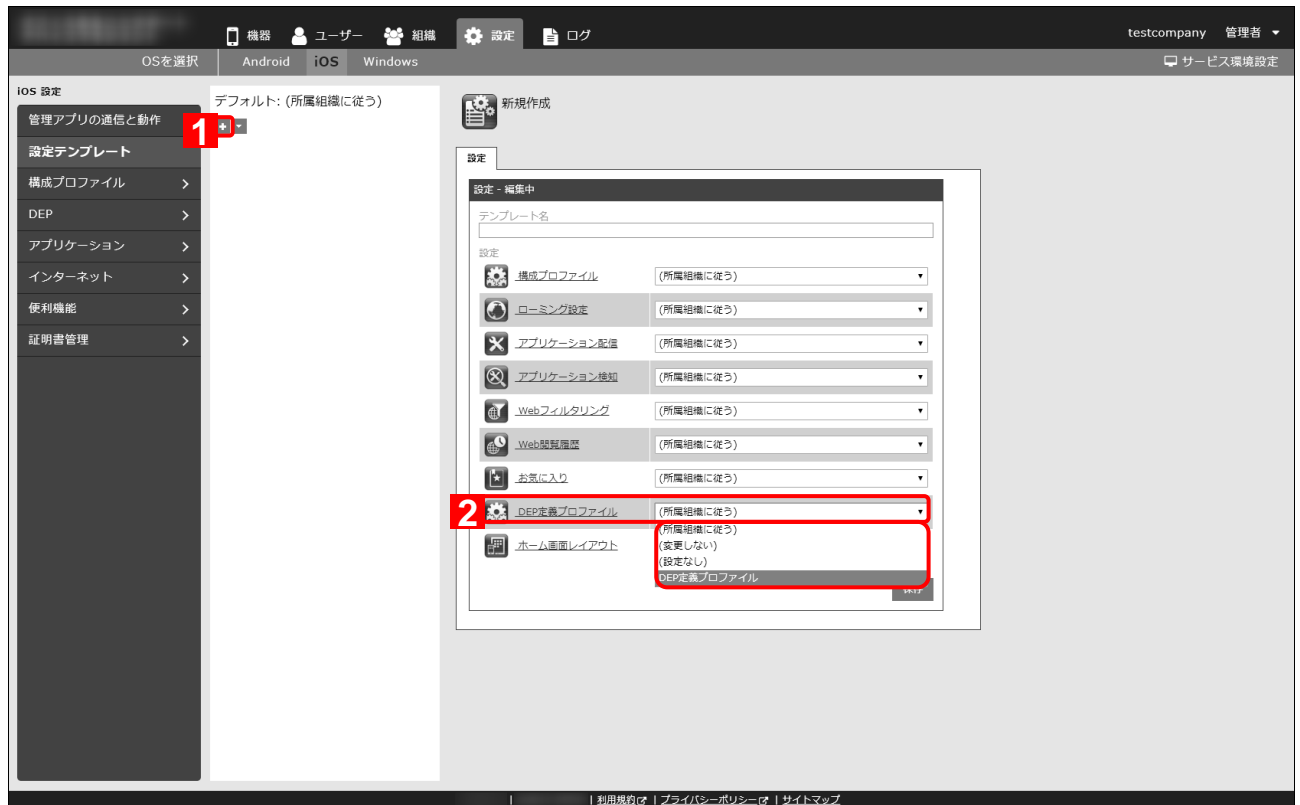
※DEP 定義プロファイル内の設定内容（「監視対象」が設定されている場合など）、端末状態により特定の設定項目が表示されない場合があります。制限事項については「付録」の「制限事項」19 ページを参照してください。

2.2 設定テンプレートの作成

管理サイトの[設定]→[iOS]→[設定テンプレート]をクリックします。

1. 新規テンプレートを作成するには[+]ボタンをクリックします。
2. テンプレート設定中の[DEP 定義プロファイル]から作成済みの「DEP 定義プロファイル」を作成します。

作成した設定テンプレートは組織・機器に適用可能です。



2.3 DEP 機器一覧

DEP 定義プロファイルの設定を組織や機器に割り当てた後、DEP サーバーと同期を行います。

[設定]→[iOS]→[DEP]→[DEP 機器管理]をクリックして機器管理画面を開きます。[DEP サービスと同期]をクリックして、DEP 設定を管理対象の機器に対して適用されます。

※DEP サービスとの同期を行うには、Apple Push Notification Service(APNs)証明書の設定が必要です。

※記録される登録日時、端末反映日時は日本標準時(JST)で記録されます。

操作 ▾		DEPサービスと同期							
機器情報		登録情報		DEP情報					
シリアル番号	モデル ▾	ユーザー ▾	組織 ▾	DEP状態 ▾	プロファイル(適用済)	プロファイル	端末反映日時 ▾	DEP登録日時 ▾	ステータス ▾

同期が完了すると、「DEP 定義プロファイル(適用済)」に割り当てた定義プロファイル名が表示され、「DEP 状態」が「適用済」になります。

DEP情報		
DEP状態 ▾	プロファイル(適用済)	プロファイル
適用済	DEP定義プロファイル2	DEP定義プロファイル2

「DEP 状態」の詳細は以下の通りです。

状態	詳細
なし	DEP 適用前の状態です。 ※次回の端末初期設定時は通常のアクティベーションとなります。
適用済	DEP のサーバーにプロファイルが登録された状態です。 ※次回の端末初期設定時にプロファイルの設定が適用されます。
削除済	DEP のサーバーからプロファイルが削除された状態です。 ステータスを「適用済」に戻すには、DEP 定義プロファイルを再度割り当て、「DEP サービスと同期」を実行してください。ステータスが「適用済」に移行したら、端末のアクティベーションが完了次第「端末反映済」に移行します。 ※次回の端末初期設定時は通常のアクティベーションとなります。
端末反映済	DEP のサーバーにプロファイルが登録され、端末のアクティベーションも完了している状態です。 ※次回の端末初期設定時は再度本プロファイルの設定が適用されます。

※「DEP 機器管理」の情報（DEP 状態、プロファイル（適用済）、プロファイル、端末反映日時）は機器画面から同期を行った際には更新されません。[DEP 機器管理]から[DEP サービスと同期]を実行してください。

※iPhone/iPad 端末の初期設定は開始する前に、該当端末の「DEP 状態」が「適用済」または「端末反映済」になっていることを確認してください。このステータス以外の場合はプロファイルの設定が正しく反映されません。

※iPhone モデルは DEP 機器管理画面においては「iPhone_U」と表示されます。

3 iPhone/iPad での初期設定

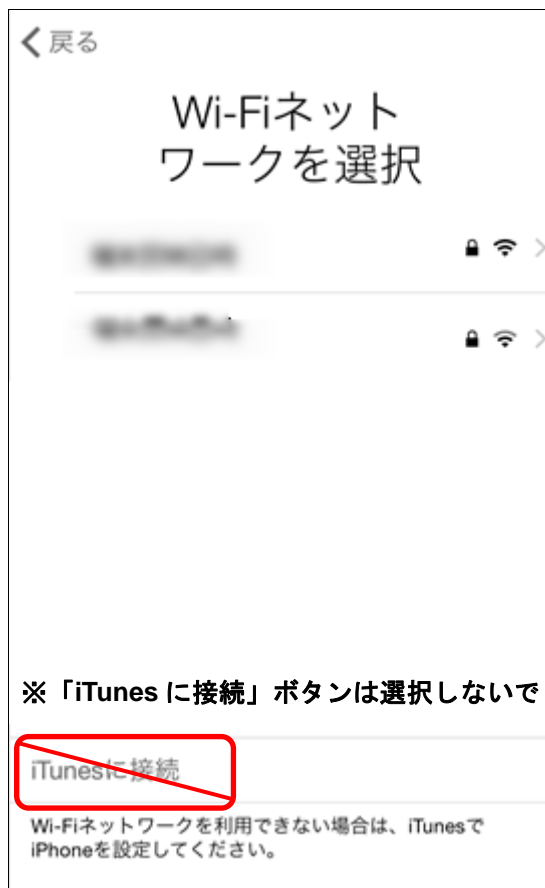
「Device Enrollment Program」管理対象に指定された iPhone/iPad 端末では、購入後の初期設定時に DEP の MDM プロファイルと各種設定が反映されます。DEP の設定を正しく反映するために、以下の手順に従って設定を行ってください。

【初期設定の注意】

初期設定時の「Wi-Fi ネットワークを選択」で「iTunes に接続」を選択すると、DEP 定義プロファイルのダウンロードが失敗します。

「iTunes に接続」を選択してしまった場合は、プロファイルのダウンロードに失敗した後に Wi-Fi 設定画面まで戻り、Wi-Fi アクセスポイントを正しく選択してください。

※モバイルデータ通信が行われている場合は、「iTunes に接続」は表示されない場合がございます。



※「iTunes に接続」ボタンは選択しないでください。

4 付録

4.1 参考リンク集

Apple Deployment Program

<https://deploy.apple.com/>

Apple Deployment Program

<https://help.apple.com/deployment/business/>

Apple Deployment Programs Device Enrollment Program ガイド

https://www.apple.com/jp/education/docs/DEP_Guide.pdf

4.2 注意事項

※サーバートークンの有効期限にご注意下さい。

サーバートークンの有効期限は 1 年間です。トークンの有効期限が切れた場合、本製品はご利用いただけなくなります。

※サーバートークンの再発行時の注意

管理サイトの[DEP サーバートークンファイル登録]の「備考」欄に記入された Apple ID をご利用ください。有効期限が切れてしまった場合は、Apple Deployment Program サイトから新しいサーバートークンを取得し、管理サイトに再度アップロードします。

※Apple Deployment Program のサイトまたは Apple Business Manager にログインするためのパスワードを「My Apple ID」(<https://appleid.apple.com/>)のサイトから変更した場合、DEP サーバーとの同期が失敗します。パスワードを変更した場合は DEP サーバートークンを更新する必要があります。

※デバイス解除の注意

Apple Deployment Program では、デバイスを永久的に削除することが可能です。

[デバイスの管理]画面で「デバイスの放棄」の対象として選択されたデバイスは再度追加することはできません。十分に注意して作業を行ってください。

※機器ログに関する注意

[ログ]画面の「機器ログ」、および[機器]画面の各端末の[詳細]の「情報」にある[ログ]から表示されるログの同期時間は、サーバー側の時刻ではなく端末の時刻設定に従って記録された時刻です。

※Apple Configurator に関する注意

DEP 定義プロファイルによる設定で「Mac とのペアリングを許可する」が無効な場合、Apple Configurator とのケーブル接続を行うことができません。

※初期設定に必要な準備

DEP の利用開始には以下の情報が必要です。

Apple ID とパスワード : Apple ID を事前に作成する必要があります。Apple Deployment Program への登録に必要です。

Apple Deployment Program 利用登録 : Apple Deployment Program への事前登録が必要です。この登録には E-mail アドレス、企業の住所、DUNS ナンバー等の情報が必要とされ、審査に 1 週間から 2 週間の時間が必要です。DEP アカウント登録にはお客様番号が必要となり、発行には Apple 社側の基準を満たす必要があります。基準は、Apple 社へお問い合わせください。

4.3 制限事項

運用時には以下の制限事項に留意して管理を行ってください。

【MDM 構成プロファイルの削除禁止】

※DEP で認証した機器で、MDM 構成プロファイルを削除できない設定にしていた場合は以下のいずれかの状態になると、MDM サーバーと通信ができなくなり、再認証も行えないため、端末を再び管理するためには端末の初期化が必要となります。

運用上ご注意ください。

- ① Apple Push 証明書の有効期限が切れてしまった場合
- ② 管理サイトにて、誤って機器を削除してしまった場合
- ③ MDM 構成プロファイルが同期不可の状態になった場合

また、誤った HTTP プロキシ設定を機器にインストールした場合は通信ができなくなる可能性があります。設定においてはご注意ください。

なお、初期化禁止を設定している場合には、工場出荷時の状態に戻す必要があります。

※工場出荷時に戻す手順については、Apple 社へお問い合わせください。

【iCloud】

※DEP 登録後、「iCloud から復元する」を選択時においては、サーバー設定にて指紋認証、パスコード設定を省略設定されても画面省略はされません。機器において手動での設定が必要となります。また、iCloud のバックアップから復元を行う際に端末がスリープ状態にある場合、復元後に DEP サーバーから DEP 定義プロファイルをダウンロードできない場合がございます。iCloud から復元中は機器の画面が表示状態である必要があります。

【初期設定】

※指紋認証の設定を省略するには、必ず ApplePay の設定を「省略する」にする必要があります。また、パスコードの設定を省略するには、必ず ApplePay の設定を「省略する」かつ指紋認証の設定を「省略する」にする必要があります。

※位置情報取得設定、Zoom 設定については設定省略を行った場合においても表示される場合がございます。

※端末初期設定時にモバイルデータ通信を使用すると、「位置情報サービスを有効にしない」と「バックアップからの復元を有効にしない」を省略させていたとしても設定画面が表示されることがございます。その場合は Wi-Fi 環境にてご利用いただくと画面省略が可能となります。

※初期設定中の「App とデータ」画面で「Android からデータを移行」が選択された場合、DEP 定義プロファイルによりスキップ設定された初期設定画面(パスコードを省略する、位置情報サービスを有効にしない、など)がスキップされず、設定画面が端末上に表示されます。

【その他】

※iOS 機器初期設定中の画面表示で DEP の「構成」の画面を表示中に管理サイトから DEP 定義プロファイルの割り当ての解除および DEP サーバーへの同期を実施するとサーバーの設定を反映することができない場合がございます。その場合、再度機器の初期化より DEP 設定を実施してください。

※iPhone モデルは DEP 機器管理画面においては「iPhone_U」と表示されます。

4.4 ログ一覧

管理サイトのログ画面で確認できるログを以下に示します。

4.4.1 操作ログ

管理サイト上での操作に関するログは以下のとおりです。

ログ名	契機	種別	ログ
DEP サーバートークン登録	トークン登録	管理	ユーザー"ユーザー名"が DEP サーバートークンを登録しました。
	トークン削除	管理	"ユーザー名"が DEP サーバートークンを削除しました。
	トークン更新	管理	"ユーザー名"が DEP サーバートークンを変更しました。
	トークン以外更新	管理	"ユーザー名"が DEP サーバートークンの設定を変更しました。
	DEP サーバーと同期ボタン押下	管理	"ユーザー名"が DEP サーバーと同期を行いました。
	除外	管理	"ユーザー名"が DEP 対象機器を除外しました: 「(機器名 1)」, 「(機器名 2)」, ...
	除外解除	管理	"ユーザー名"が DEP 対象機器を除外から解除しました: 「(機器名 1)」, 「(機器名 2)」, ...
	DEP サーバートークンの有効期限アラート	管理	DEP サーバートークンの有効期限が YYYY/mm/dd HH:MM:SS に切れます。ご利用の Apple ID を使用して手順に従って更新してください。
	DEP サーバーと同期	管理	operator が DEP サーバーに機器「(機器名)」の同期を行いました。

4.4.2 iOS エージェントログ

iOS エージェントの挙動に関するログは以下のとおりです。

ログ名	契機	種別	ログ
DEP 定義プロファイル	非対象機器エラー	機器	端末が DEP サービスに登録されていないため、DEP 定義プロファイル「(DEP 定義プロファイル名)」の割り当てに失敗しました: 「(デバイスの Serial Number1)」, 「(デバイスの Serial Number2)」, ...
	設定失敗エラー	機器	DEP 定義プロファイル「(DEP 定義プロファイル名)」の割り当てに失敗しました: 「(デバイスの Serial Number1)」, 「(デバイスの Serial Number2)」, ...
	非対象機器エラー	機器	端末が DEP サービスに登録されていないため、DEP 定義プロファイルの割り当て解除に失敗しました: 「(デバイスの Serial Number1)」, 「(デバイスの Serial Number2)」, ...
	設定失敗エラー	機器	DEP 定義プロファイルの割り当て解除に失敗しました: 「(デバイスの Serial Number1)」, 「(デバイスの Serial Number2)」, ...